



日時:平成 19 年 8 月 26 日(日) 13:30~16:00

場所:野洲市中央公民館 3 階 視聴覚室

語り合う会タイムスケジュール

13:15	~	13:30	受付
13:30	~	13:35	開会の挨拶
13:35	~	13:40	本日の予定確認
13:40	~	14:00	現地見学会の報告
14:00	~	14:35	テーマ① 候補場所の選定理由について (1) グループでの対話 (2) 対話内容の発表と傍聴者からの意見
14:35	~	15:10	テーマ② 安全性に関する内容について (1) グループでの対話 (2) 対話内容の発表と傍聴者からの意見
15:10	~	15:45	テーマ③ 環境影響について (1) グループでの対話 (2) 対話内容の発表と傍聴者からの意見
15:45	~	15:55	ファシリテータまとめ
15:55	~	16:00	閉会の挨拶



「語り合う会」の開催

◆「現地見学会」での質問事項は、「現地見学会」で一部、回答をしましたが、確認を兼ねて5つの項目に整理しました。

『現地見学会の報告』で説明します。

◆「現地見学会」で寄せられましたご意見から、3つのテーマを取り上げました。

テーマ① 候補場所の選定理由について

テーマ② 安全性に関する内容について

テーマ③ 環境影響について

・グライダー訓練場について、テーマごとに参加者の皆さん方が感じられた意見を発表していただきます。

・意見発表のお手伝いをファシリテータ(進行役)がします。ファシリテータが「現地見学会」のアンケート結果をもとに、論点を整理して進行します。

・意見や議論で必要により日本学生連盟、河川管理者から追加の説明をお願いして、意見を共有して深めていただきます。

なお、この結果は、河川保全利用委員会に報告し、グライダー審査の判断資料とさせていただきます。

日時:平成 19 年 8 月 26 日(日) 13:30~16:00

場所:野洲市中央公民館 3階 視聴覚室

ファシリテータの紹介

久保田 洋一(くぼた よういち) NPO 法人 近畿水の塾 理事

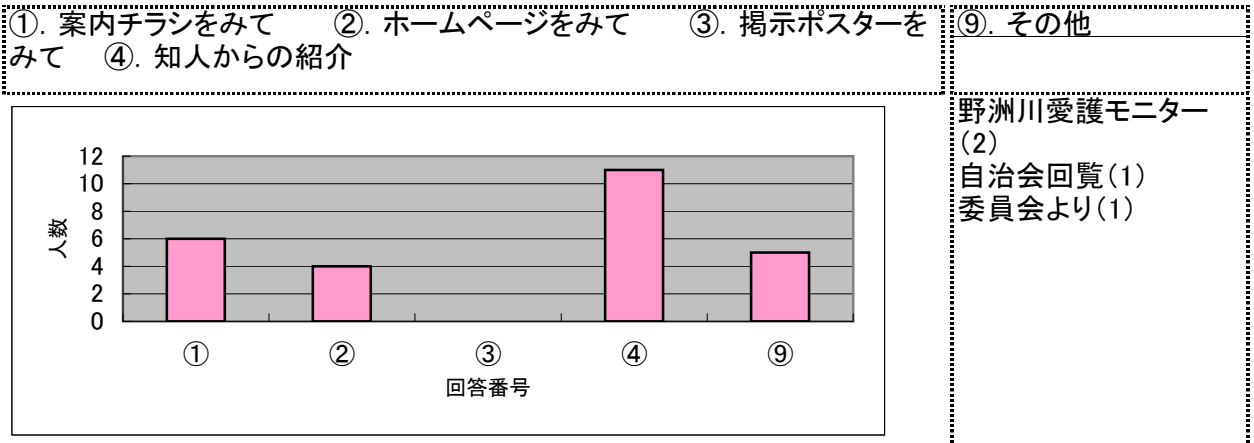
専門は都市計画。京阪神を中心として各地の住民参加のまちづくりに関わる。天ヶ瀬ダムワークのファシリテータや、大阪市加島地区のまちづくり実行委員会等、河川計画、まちづくり計画、公園計画などを支援。地元宝塚市のコミュニティ活動にも積極的に参加。

『現地見学会』アンケート集計結果

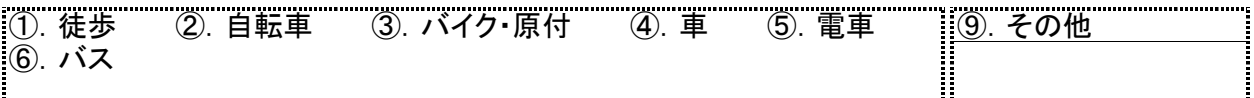
平成19年7月29日開催の「現地見学会」で参加者のみなさまにご協力いただいたアンケートの集計結果です。このアンケートは、「語り合う会」の参考資料として作成しているもので、数字の大小による判断に用いるものではありません。

1. 「現地見学会」のご参加の方に野洲川の利用について、お聞きします。
本日の「現地見学会」を含めて野洲川全般の内容について、お聞かせください。

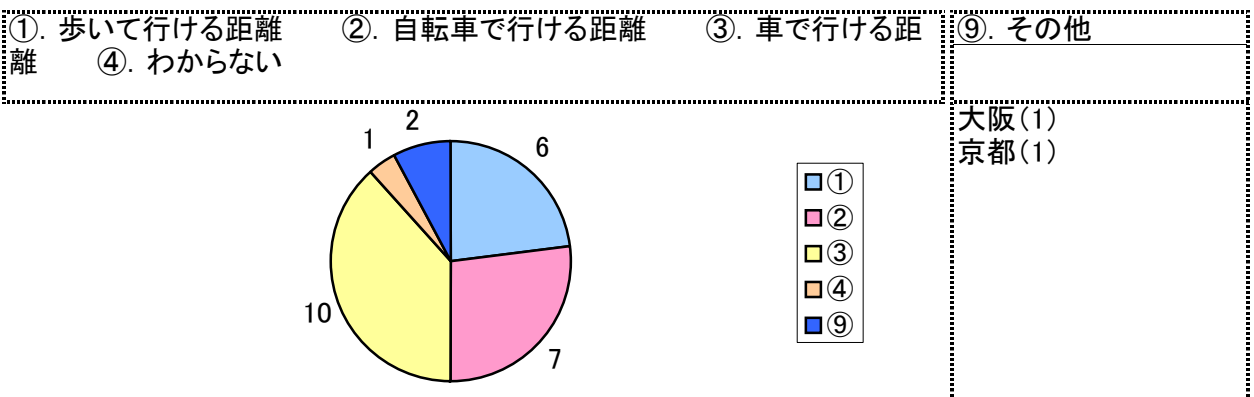
質問1 本日の「現地見学会」は何を見て参加されましたか。(複数回答可)



質問2 ご自宅から、野洲市中央公民館まで来られた、おもな交通手段を教えてください。

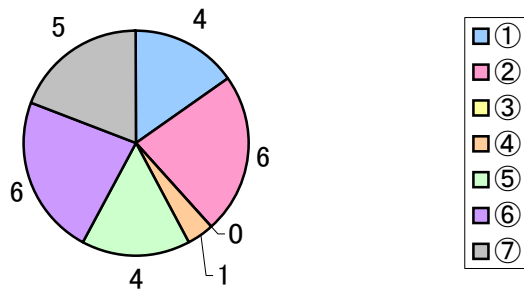


質問3 ご自宅から、見学会現地場所である川田大橋付近までの距離はどのくらいですか。



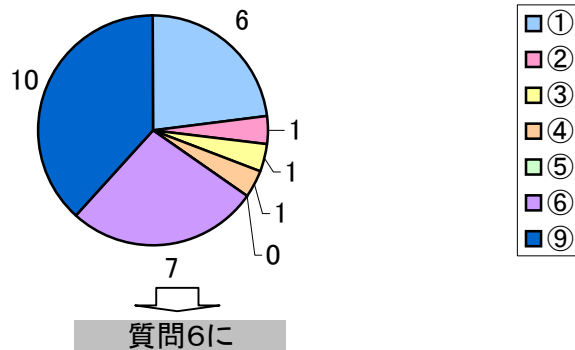
質問4 あなたの年齢は何歳でいらっしゃいますか。

- ①. ~20歳 ②. 21~30歳 ③. 31~40歳 ④. 41~50歳 ⑤. 51~60歳
 ⑥. 61~70歳 ⑦. 71歳~



質問5 野洲川の利用頻度(堤防・河川敷を含めて)は、どの程度ですか。

- ①. ほぼ毎日 ②. 週に2、3回 ③. 週に1回 ④. 月に2、3回 ⑤. 月に1回 ⑥. 年に数回 ⑨. 利用しない

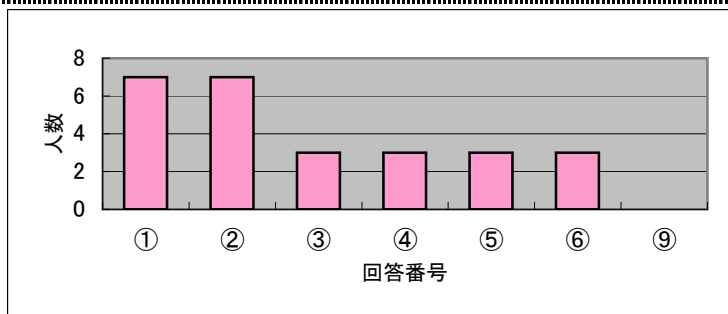


質問6に

質問8に

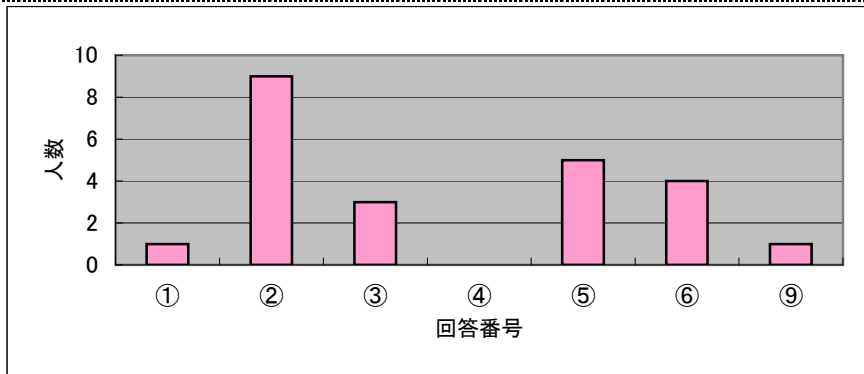
質問6 質問5で野洲川の利用をされている方にお聞きします。利用される施設(堤防・河川敷を含めて)は、どのような内容ですか。(複数回答可)

- ①. 公園、緑地又は広場の道路 ②. 運動場等のスポーツ施設 ③. 堤防上の遊歩道 ④. 遊歩道 ⑤. 親水施設(川遊び・魚釣りなど) ⑥. 環境調査(動植物観察など) ⑨. その他



質問7 野洲川の利用の理由(堤防・河川敷を含めて)は、どのようなことですか。(複数回答可)

- ①. 駅から近い ②. 家から近い ③. 駐車場がある ④. 駐輪場がある ⑤. 自由に使用できる ⑥. 整備された施設 ⑦. 利用料金が安い ⑨. その他



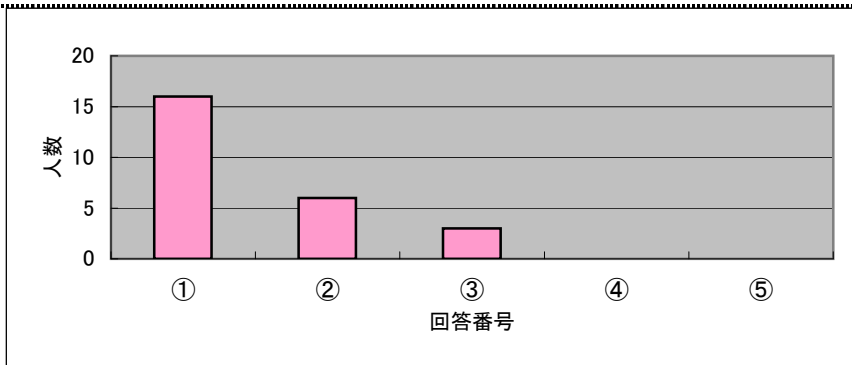
自然環境が豊かなところがまだのこっている…。(1)

2. 次回の「語り合う会」のご参加についてお聞きします。

次回の「語り合う会」は、みなさま方からご意見を発表していただき、進行役(ファシリテータ)の進行により、ご意見を整理しながら議論を深めたいと考えています。「語り合う会」へのご参加についてお聞きかせください。

質問8 次回の「語り合う会」の参加を願うことができますか。

- ①. 参加する ②. 参加する予定である ③. わからない ④. 参加は難しい ⑤. 参加できない



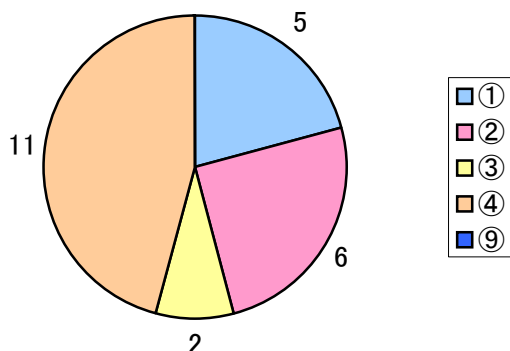
質問8の回答なし 1名

質問9 「語り合う会」では、多くの方から、ご意見をお話いただきたいと考えていますが、ご意見をお話いただくことは可能ですか。

- ①. 意見を話すことはできる ②. 場合によっては話してもよい ③. 傍聴者席から話をしたい ④. 傍聴者として参加し、意見を聴きたい ⑨. その他

質問9で、ご意見のお話をいただける方は、のちほど、事務局から連絡を差し上げますので、ご氏名または参加番号をご記入願います。

記入欄 氏名(参加番号)

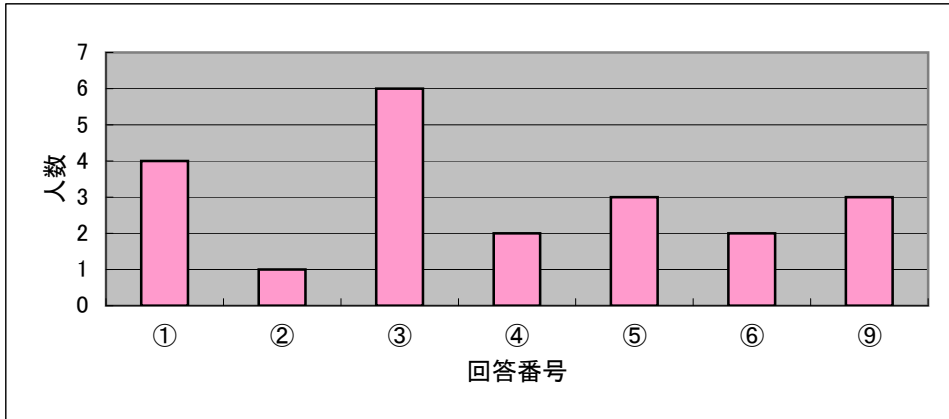


質問9の回答なし 1名

「ご意見をお話いただける」を選択された参加者は13名おられましたが、ご氏名を確認できた方は10名でした。

質問10 「語り合う会」でお話いただける内容はどのようなことですか。(複数回答可)

- ①. ここを選んだ根拠について ②. 施設規模について ⑨. その他
 ③. 河川敷の環境影響について ④. グライダーの安全性について
 ⑤. 飛行の影響について
 ⑥. グライダー訓練場の利用方法について



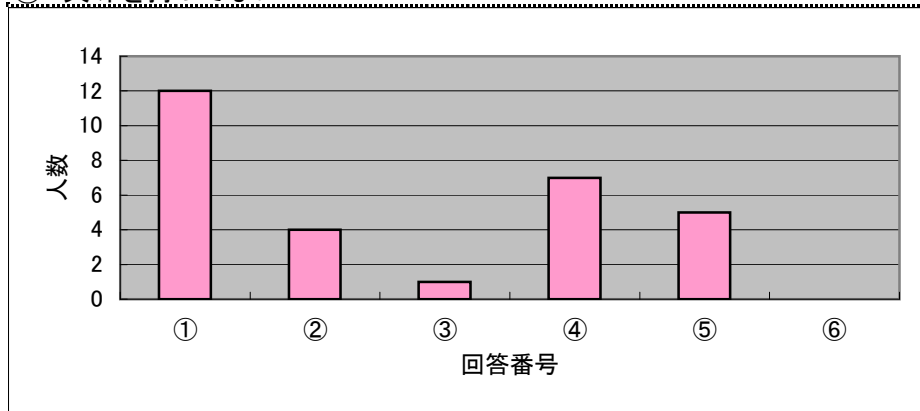
是非グライダーがとべる様にしてもらえれば
 (1)
 経費に関すること(1)
 その他欄未記入(1)

3. グライダー訓練場候補地でお感じになった点をお聞きます。

本日の「現地見学会」で、グライダーを展示してグライダー施設を説明させていただきましたが、どのように感じたかをお聞かせください。

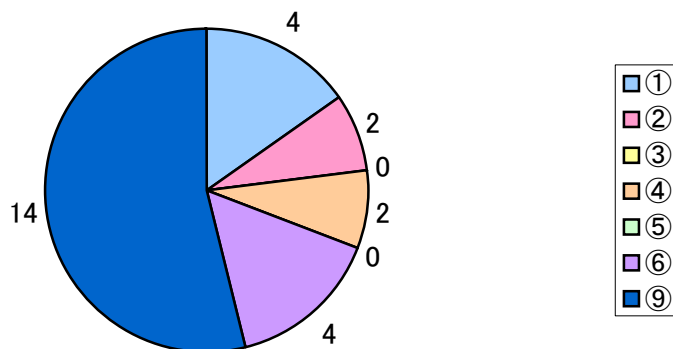
質問11 グライダーについて、どの程度ご存知でしょうか。(複数回答可)

- ①. グライダーで飛行したことがある ②. 飛行したことはないが飛行の原理を知っている ③. 興味があり勉強してみたい
 ④. グライダーの実物をはじめて見た ⑤. 内容は良く知らない
 ⑥. 興味を持ってない



質問12 グライダー訓練場候補地(川田大橋上流付近)の河川敷に、来られる頻度は、どの程度ですか。

- ①. ほぼ毎日 ②. 週に2、3回 ③. 週に1回 ④. 月に2、3回 ⑨. 利用しない
 ⑤. 月に1回 ⑥. 年に数回

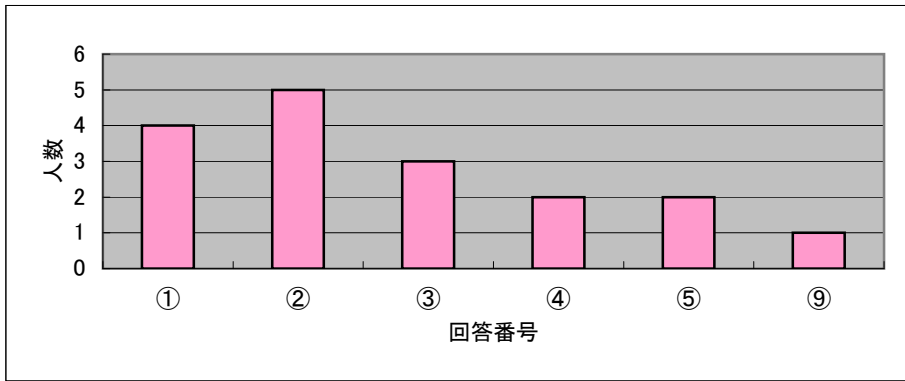


質問13に

質問14に

質問13 質問12で「来られる」と回答をいただいた方にお聞きます。来られた目的は、どのようなことでしたか。(複数回答可)

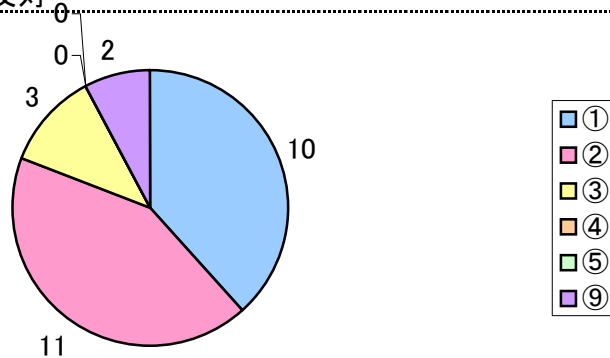
- ①. 徒歩・自転車での通行 ②. 散歩・ジョギング ③. 川遊び・魚釣り ⑨. その他
④. スポーツ利用 ⑤. 環境調査



犬の散歩(1)

質問14 グライダー訓練場が設置されることをどう思いますか。

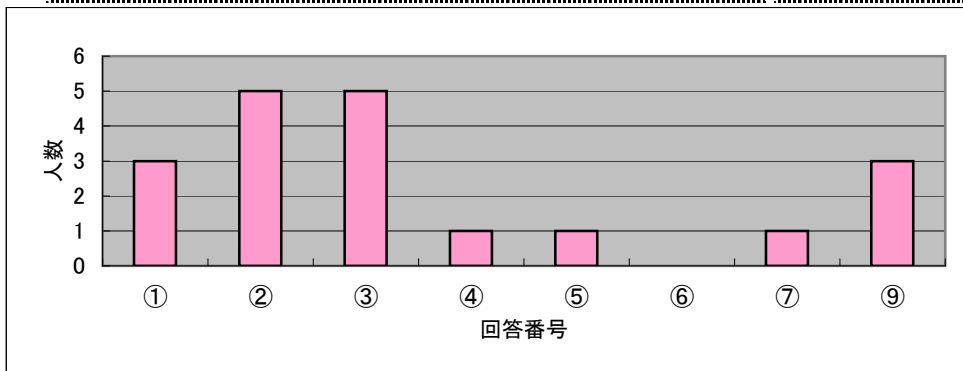
- ①. どちらかという賛成 ②. 条件を満足すれば賛成 ③. 本日の説明と資料のみでは判断できない ⑨. その他
④. 条件を満足しないので反対
⑤. どちらかという反対



絶対反対(2)

質問15 質問14で「条件を満足すれば賛成」と回答された方にお聞きます。解決すべき条件はどのような内容ですか。(複数回答可)

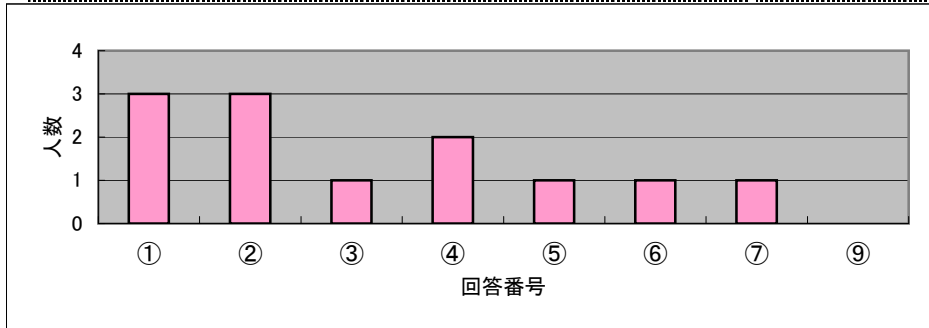
- ①. 上空を通る影響範囲や利用方法による交通渋滞の横断支障 ②. 墜落の危険性 ③. 整備 ⑨. その他
④. 動植物への影響 ⑤. 利用 ⑥. 堤防の通行支障 ⑦. 河川敷



地元住民の不满(1)
エンジン音が許容範囲であれば(1)
ゴミ処理、炭酸ガス排出削減(1)

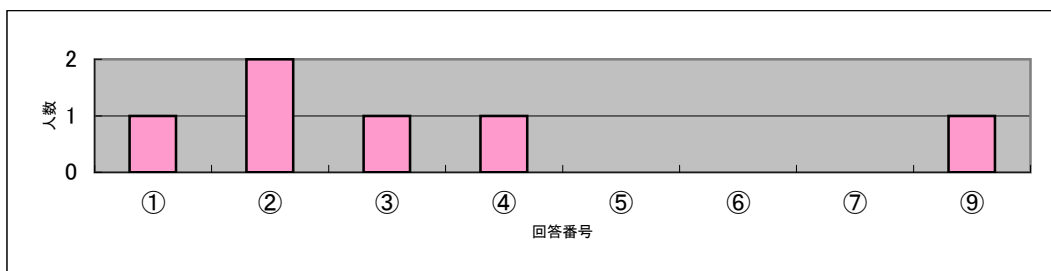
質問16 質問14で「判断をできない」と回答された方にお聞きます。判断に役立つと思われる情報提供項目は、どのような項目ですか。(複数回答可)

- | | | | |
|---|------------|--------|--------|
| ①. 上空を通る影響
範囲や利用方法
による交通渋滞
の横断支障 | ②. 墜落の危険性 | ③. 整備 | ⑨. その他 |
| | ④. 動植物への影響 | ⑤. 利用 | |
| | ⑥. 堤防の通行支障 | ⑦. 河川敷 | |



質問17 質問14で「条件を満足しないので反対」と回答された方にお聞きます。解決すべき条件はどのような内容ですか。(複数回答可)

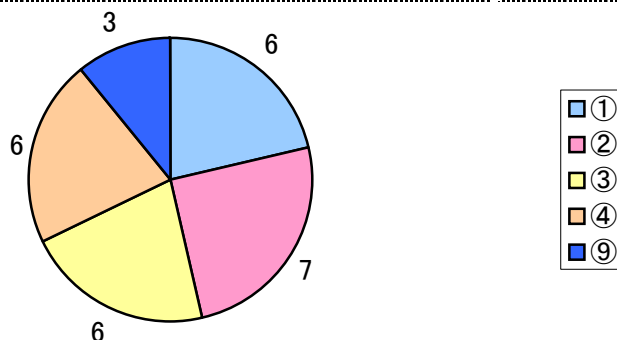
- | | | | |
|---|------------|--------|--------|
| ①. 上空を通る影響
範囲や利用方法
による交通渋滞
の横断支障 | ②. 墜落の危険性 | ③. 整備 | ⑨. その他 |
| | ④. 動植物への影響 | ⑤. 利用 | |
| | ⑥. 堤防の通行支障 | ⑦. 河川敷 | |



次世代エネルギーの栽培地(化学肥料に変わる)(1)

質問18 この場所は、グライダー訓練場以外の利用をするとすれば、どのような利用がよいと思いますか。

- | | | |
|--------------|------------------|--------|
| ①. 現状のままでよい | ②. 緑地で整備するのがよい | ⑨. その他 |
| ③. スポーツ施設がよい | ④. 水辺利用を進める整備がよい | |



現状のままで緑地公園(1)
堤防は「遊歩道」にしたり
リム運動を取り入れること(1)
自然環境重視の利用(1)

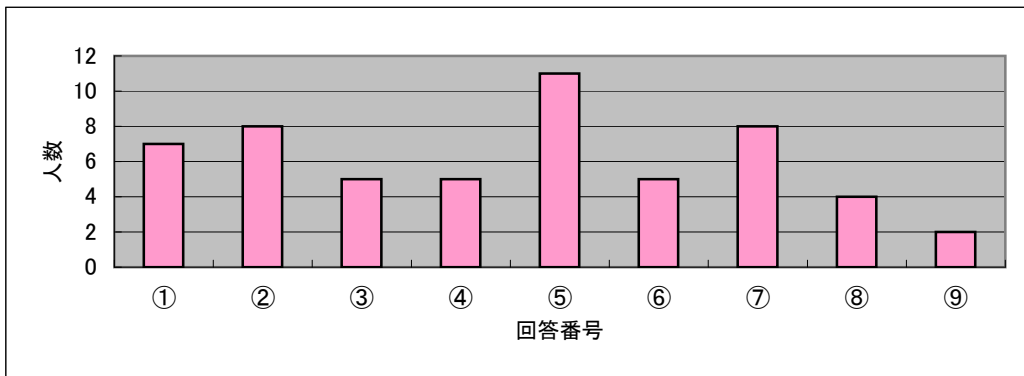
重複回答されている方あり。

4. グライダー訓練場候補地についてお聞きします。

現行の基準では、「グライダー施設」は、次のとおりの施設とされています。
 「周辺環境に影響を与える施設で、市街地から遠隔にあり、かつ、公園等の他の利用が阻害されない河川敷地に立地する場合に、必要最小限の規模で設置が認められる施設」
 本日の「現地見学会」でご案内した場所は、現行の基準から見ると、どのように感じられたかをお聞かせください。

質問19 グライダー施設は、「周辺環境に影響を与える施設」と位置づけされていますが、「周辺環境に影響を与える」と感じられる内容は、どのようなものですか。(複数回答可)

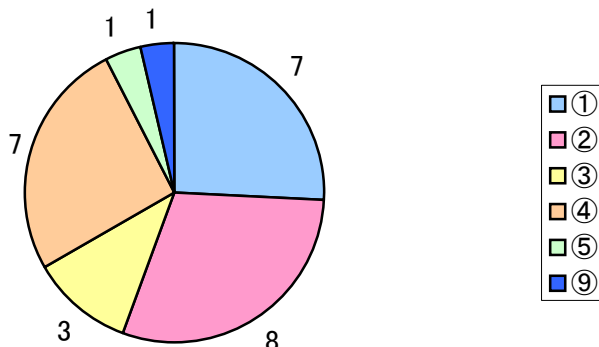
- ①. 広い面積の利用 ②. 上空の飛行 ③. 動植物への影響 ④. 騒音の影響 ⑤. 河川敷の立入規制 ⑥. 人が集まることによる環境悪化 ⑦. 水遊び・釣り人への威圧感 ⑧. 影響を与えることで思いあたることはない ⑨. その他



住宅環境の悪化(1)
なし(1)

質問20 この場所は、「市街地から遠隔」と見られる場所ですか。

- ①. 遠隔の場所である ②. どちらかといえば遠隔の場所である ③. どちらかといえば市街地近郊である ④. 市街地近郊である ⑤. わからない ⑥. その他

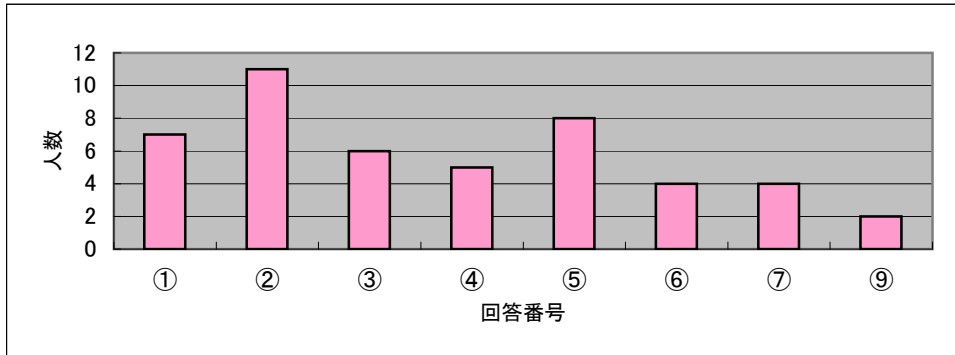


重複回答されている方あり。

守山・野洲市街に物理的に近い。(1)

質問21 この場所で、「公園等の他の利用が阻害される」と感じられる内容はどのようなものですか。(複数回答可)

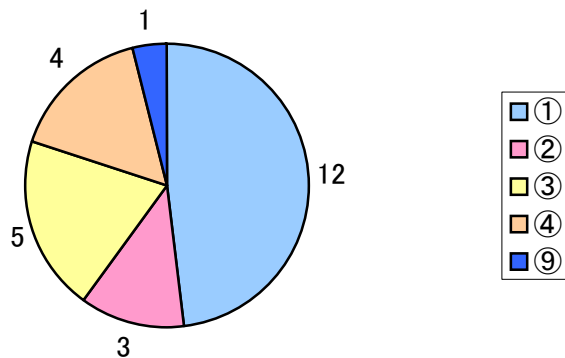
- ①. 堤防通行支障 ②. 散歩 ③. 自転車通行 ④. 釣りに影響
 ⑤. 川遊びに影響 ⑥. 他の利用で阻害されるものは考えられない
 ⑦. わからない ⑨. その他



なし(1)
環境(1)

質問22 利用規模は、「必要最小限の規模」とありますが、利用規模について、どのように感じましたか。

- ①. 利用内容から見て適切な規模である ②. 利用内容から見て大きな規模の利用である ③. 他の利用計画がないのであれば利用してよい規模である ④. 本日の説明だけでは判断できない ⑨. その他



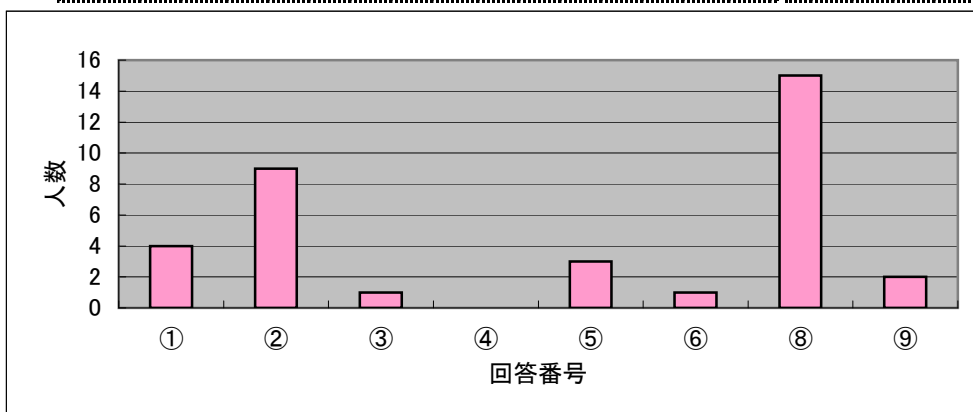
説明以前の問題(1)

5. 本日の説明や配布資料についてお聞きします。

情報提供として、本日の進め方や配布資料の内容についてお聞かせください。わかりにくいと感じられた内容は、次回の「語り合う会」で説明の準備をいたします。

質問23 本日の説明で不十分(分かりにくい説明を含め)であると感じられた内容がありましたか。(複数回答可)

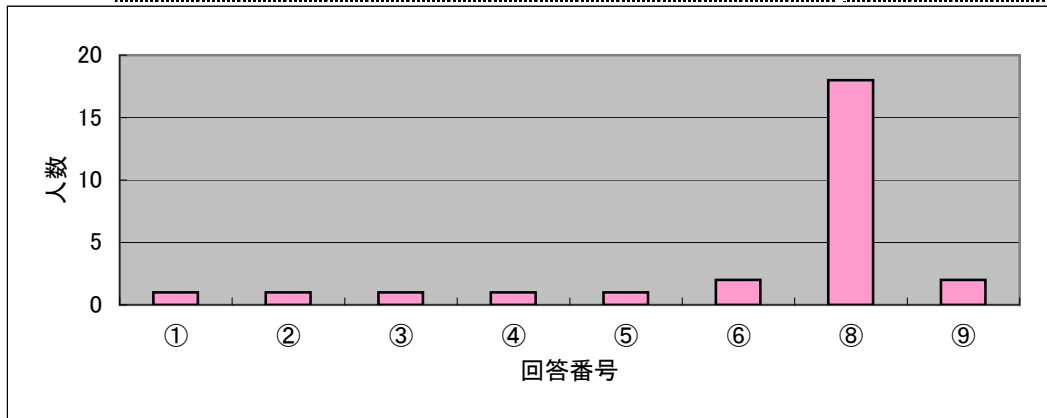
- ①. 河川利用について ②. 河川敷地の整備方法 ⑧. 分かりにくい説明は特になかった ⑨. その他
 ③. グライダー飛行方法 ④. グライダー組立て方法
 ⑤. 訓練場利用計画 ⑥. グライダーの飛行範囲



わかりにくい全て(1)
その他欄未記入(1)

質問24 本日、お渡しした資料でわかりにくい資料がありましたか。(複数回答可)

- | | | | |
|-----------------|-----------------|--------------------|--------|
| ①. 河川利用について | ②. グライダー飛行資料全般 | ⑧. 分かりにくい資料は特になかった | ⑨. その他 |
| ③. グライダー飛行ビデオ映像 | ④. グライダー訓練候補地地図 | | |
| ⑤. グライダー飛行範囲図 | ⑥. 訓練場利用計画 | | |



具体的に滑空場予定において自然環境の保護に関する資料(1)飛行に関する法的規制(1)

質問25 本日のグライダー訓練場の説明で、心配になったこと、追加の情報提供をしてほしい事項があればご記入ください。

【心配な事項】

- ・安全性、河川敷利用に関して、他の利用 例えば(川田橋⇄三共農業までのプロムナードに支障しないか)
- ・あくまで訓練場であるので、飛行失敗したときが心配。
- ・住民感情が心配です。
- ・利用頻度はどれくらいになりそうか。(年間毎日位)
- ・環境アセスメント、生物への配慮がまったく無いですが、必要性は無いのでしょうか。
- ・安全性
- ・土地がカーブしているため、ワイヤーが川に入ることになる。この影響は?
- ・墜落の危険性、ウィンチ落下の危険性、ウィンチの騒音

【追加の情報提供事項】

- ・野洲市民の意識調査(賛成OR反対)をして提出して欲しい。
- ・環境保全のうえから、開発にならないか。
- ・河川敷地の整備について(草刈のみ、整地ありか)
- ・水辺の国勢調査(動植物)の調査結果
- ・旭化成、チッソポリプロ等の上空を飛びますが、両社意見はどうですか。(特に墜落の危険性について)

ご意見・質問事項がありましたらご記入ください。

【自由記述欄】

・一部の人のために、住民として危険にさらされたくない。近くに化学工場等があり、大変危険である。他にふさわしい場所を探せば良い。また静かな環境の場所が騒がしくなる。

・許可に反対される方は、どのような理由をお持ちなのか(具体的なデータ資料を用いて意見を伺いたいと思う。)木曽川滑空場の見学会を行い、実際の合宿を見るべきだと思う。

・ラジコン/ヘリコプター/パラグライダーの飛来があります。雲の上での安全確認、安全確保など交通整理はどのようにされるのでしょうか。

・私が野洲川を見た感想ですが、普段訓練している木曽川と周辺状況はとても似ていると思いました。木曽川では整備等しっかり行っているの、野洲川に対しても悪影響はないと思います。私たちも環境等気をつけて利用したいと思っています。

・河川保全利用委員会の委員に「レジャー研究」の学識者加えるといいですね。

・グライダー訓練地ができることによって、利益があるのはどれくらいの学生ですか。人数、範囲などが知りたいです。

・なぜ、ここでなければならないのか。

・国家財政の赤字、地球温暖化などをふまえた河川の利用アイデアは何でしょうか。

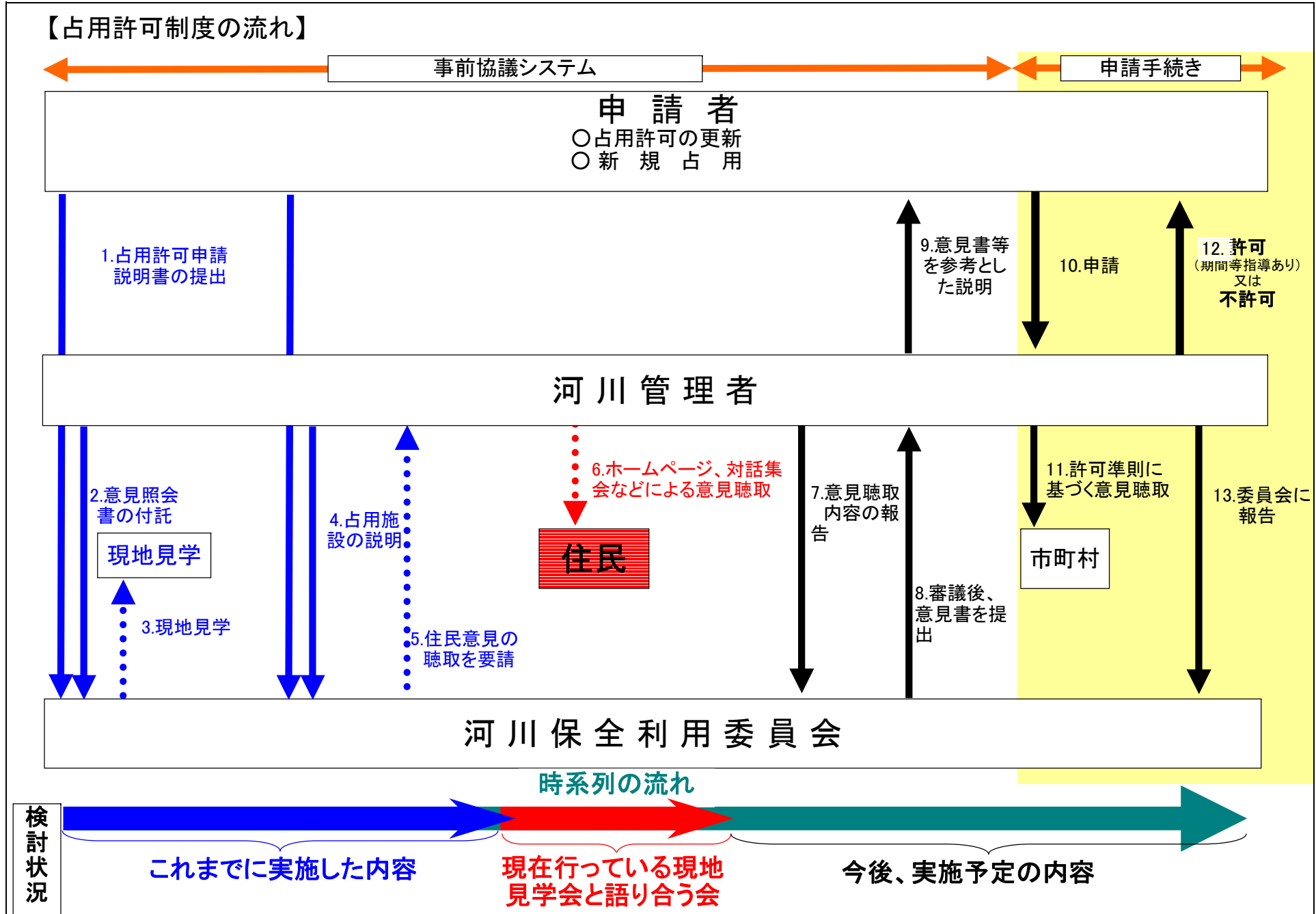
・今年8月末より住宅の造成が始まり、約40軒(1期、2期工事合せて)の新しい住宅が河川に沿って建つ予定です(川田町)。住宅地、化学工場の上空を飛ぶのは絶対反対です。

「現地見学会」で寄せられたご意見・ご質問の報告

区分		報告の内容														
		現地見学会の報告（資料4で質問事項等を回答）						「語り合う会」のテーマとして対話								
		占有までの手続き	占有後の扱い	市街地かの判断	グライダー事故報告	航空連盟の利用形態	その他	テーマ① 野洲川を選んだ理由	テーマ② 安全性 曳航ロープ落下	安全性 墜落の可能性	テーマ③ 環境影響 上空通過 騒音・整備					
現地見学会で寄せられた質問	質問の内容 (発言された順に記載しました)	占有を判断する時期はいつか	●													
		最終的判断者は誰か	●													
		他にふさわしい場所はないのか						●								
		事故調査委員会資料をわかりやすく説明を				●										
		占有がはじまったら立入りができないのか		●												
		模型の飛行機を飛ばしている扱いは		●												
		訓練場だから事故が多くなるのでは				●				●						
		民家の上を飛ぶ面での規制はあるか									●					
		野洲川を選ばれた理由は						●								
		普通免許と教官免許の違いは						●								
		OBさんが来られた場合一緒に飛ぶことはあるのか						●								
		いい方向で進めば、いつ頃に施設ができるのか	●													
		許認可は国土交通省だけか、野洲市、守山市などの許認可が必要なのか	●													
		この場所は、市街地から遠い場所か			●											
		見学した堤内地の竹やぶは、民地ですか官地ですか						●								
アンケートでご記入いただいた内容	条件付賛成・反対、分らないで示された判断の条件	墜落の危険性 10名				●			●	●						
		上空を通る影響 7名									●					
		整備範囲や利用方法 7名											●			
		動植物への影響 4名												●		
	説明が不十分の内容	河川敷地の整備方法 9名													●	
		「心配な事項」でのご意見	安全性、河川敷利用に関して、他の利用 例えば(川田橋⇄三共農業までのプロムナードに支障しないか)								●					
	あくまで訓練場であるので、飛行失敗したときが心配。									●	●					
	住民感情が心配です。							●								
	利用頻度はどれくらいになりそうか。(年間何日位)							●								
	環境アセスメント、生物への配慮がまったく無いですが、必要性は無いのでしょうか。														●	
	安全性									●	●					
	土地がカーブしているため、ワイヤーが川に入ることになる。この影響は？									●						
	追加の情報提供	墜落の危険性、ウィンチ落下の危険性、ウィンチの騒音								●	●	●				
		野洲市民の意識調査(賛成OR反対)をして提出して欲しい。						●								
		環境保全のうえから、開発にならないか。						●								
河川敷地の整備について(草刈のみ、整地ありか)													●			
自由記述欄	水辺の国勢調査(動植物)の調査結果						●									
	旭化成、チッソポリプロ等の上空を飛びますが、両社意見はどうですか。(特に墜落の危険性について)												●			
	一部の人のために、住民として危険にさらされたくない。近くに化学工場等があり、大変危険である。他にふさわしい場所を探せば良い。また静かな環境の場所が騒がしくなる。												●			
	許可に反対される方は、どのような理由をお持ちなのか(具体的なデータ資料を用いて意見を伺いたいと思う。)木曾川滑空場の見学会を行い、実際の合宿を見たいと思う。						●									
	ラジコン/ヘリコプター/パラグライダーの飛来があります。雲の上での安全確認、安全確保など交通整理はどのようにされるのでしょうか。						●									
	私が野洲川を見た感想ですが、普段訓練している木曾川と周辺状況はとても似ていると思いました。木曾川では整備等しっかり行っているのに、野洲川に対しても悪影響はないと思います。私たちが環境等気をつけて利用したいと思っています。													●		
	河川保全利用委員会の委員に「レジャー研究」の学識者加えるといいですね。						●									
	グライダー訓練地ができることによって、利益があるのはどれくらいの学生ですか。人数、範囲などが知りたいです。							●								
	なぜ、ここでなければならないのか。							●								
	国家財政の赤字、地球温暖化などをふまえた河川の利用アイデアは何でしょうか。							●								
その他	一般の方からのご意見	今年8月末より住宅の造成が始まり、約40軒(1期、2期工事合せて)の新しい住宅が河川に沿って建つ予定です(川田町)。住宅地、化学工場の上空を飛ぶのは絶対反対です。											●			
		語り合う会事務局に、文書でご意見が寄せられました。別紙1を8月13日に受取りました。別紙2を8月24日に受取りました。	→別紙「一般の方からのご意見」をご参照ください 別紙1 「野洲川グライダー滑空場の問題点について」 別紙2 「野洲川グライダー訓練場にかかわる「8/26・語り合う会」に向けての意見書」													

「現地見学会」で寄せられた質問事項の回答

区分	質問の内容	回答
占用までの手続き	占用を判断する時期はいつか	次回の「語り合う会」の実施内容を、9月までに河川保全利用委員会に報告する予定です。そして、11月頃には最終的な判断をお願いする予定で考えています。
	いい方向で進めば、いつ頃に施設ができるのか	
	最終的判断者は誰か	判断は、国土交通省 近畿地方整備局 琵琶湖河川事務所がおこないます。
	許認可は国土交通省だけか、野洲市、守山市などの許認可が必要なのか	現地見学会と語り合う会で皆様の意見をまとめて、河川保全利用委員会に内容を報告します。委員会で更に話し合いを行い、委員会の意見を国土交通省に提出していただきます。その結果を申請者である連盟に国土交通省が説明します。その後、申請手続きが開始され、付された意見がクリアできれば、占用が許可されるという流れです。その際、申請者から住民の皆様からの同意書も添付して提出していただきます。野洲市や守山市の方々に住民説明を行い、同意していただければ同意書を作成できるということです。これらの流れに従い占用の許可は認可されます。
占用後の扱い	占用がはじまったら立入りができないのか	占用が始めれば、管理は学生連盟が行います。学生連盟で監視員等を配置しますので、釣りや散歩等の一般の方が立ち入る場合を優先して利用していただく方針です。
	模型の飛行機を飛ばしている扱いは	模型飛行機を飛ばすことは、自由使用の範疇に入ります。ただ、それが騒音等で問題になった場合は、これは迷惑行為として問題になると認識しております。河川管理者が河川巡視を行い、そういう行為をやめていただく注意喚起を行っております。
市街地かの判断	この場所は、市街地から遠い場所か	占用許可の際、市街地から遠隔の場所であるかの判断を河川管理者が行ないます。
グライダー事故報告	事故調査委員会資料をわかりやすく説明を	航空・鉄道事故調査委員会の資料をまとめましたのでこの資料を参照ください。
	訓練場だから事故が多くなるのでは	
	墜落の危険性 10名	
航空連盟の利用形態	普通免許と教官免許の違いは	グライダー運航には、航空従事者技能証明(ライセンス)と指定検査医による航空身体検査が必要です。操縦教育には、さらに操縦教育証明(国土交通省の教官資格)が必要です。
	OBさんが来られた場合一緒に飛ぶことはあるのか	基本的には、維持会員(学生)と特別維持会員(OBが含まれます)が飛行します。会員以外の方は、特別維持会員となる必要があります。
	利用頻度はどれくらいになりそうか。(年間何日位)	土日、春休み、夏休みを中心に150日程度となります。
	グライダー訓練地ができることによって、利益があるのはどれくらいの学生ですか。人数、範囲などが知りたいです。	関西支部の17大学の学生で、1日あたり30人の利用で年間予定者数は4500人です。
その他	見学した堤内地の竹やぶは、民地ですか官地ですか	竹やぶの一部は官地です。
	住民感情が心配です。	ご意見があったことを承りました。
	野洲市民の意識調査(賛成OR反対)をして提出して欲しい。	ご意見があったことを承りました。
	環境保全のうえから、開発にならないか。	ご意見があったことを承りました。
	水辺の国勢調査(動植物)の調査結果	第10回河川保全利用委員会で野洲川河川環境情報図を提供していますので、この資料を参照ください。
	許可に反対される方は、どのような理由をお持ちなのか(具体的なデータ資料を用いて意見を伺いたいと思う。)木曾川滑空場の見学会を行い、実際の合宿を見るべきだと思う。	ご意見があったことを承りました。
	ラジコン/ヘリコプター/パラグライダーの飛来があります。雲の上での安全確認、安全確保など交通整理はどのようにされるのでしょうか。	空の交通整理は、今後の問題として認識しています。
	河川保全利用委員会の委員に「レジャー研究」の学識者加えるといいですね。	ご意見があったことを承りました。
	国家財政の赤字、地球温暖化などをふまえた河川の利用アイデアは何でしょうか。	ご意見があったことを承りました。



航空・鉄道事故調査委員会資料まとめ (グライダー事故発生年別事故件数)

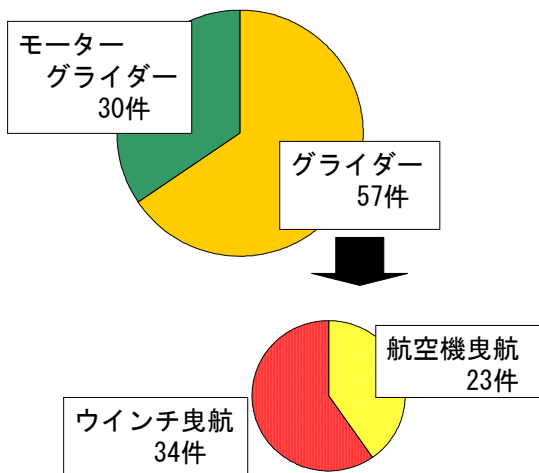
【調査結果】

- 航空・鉄道事故調査委員会では、1974年以降の事故統計を公表している。
- 今回、平成元年以降のグライダー事故発生87件を調査した。
- グライダー事故のうち、ウインチ曳航グライダーの事故件数は34件で、そのうち死傷者数21名(死亡9名 重傷12名)。
- 死傷者はいずれも、グライダー搭乗者および地上待機中の関係者。
(参考)グライダー事故による第三者の死傷者は、昭和27年航空再開以降報告されていません。
 - 「航空・鉄道事故調査委員会」WEBページより引用して事務局で作成(<http://araic.assistmicro.co.jp/araic/aircraft/index.html>)
 - 事故調査委員会は、日本語で滑空機と記載されていますが、本資料では、グライダーと記載しました。

グライダー事故件数(1989～2007)

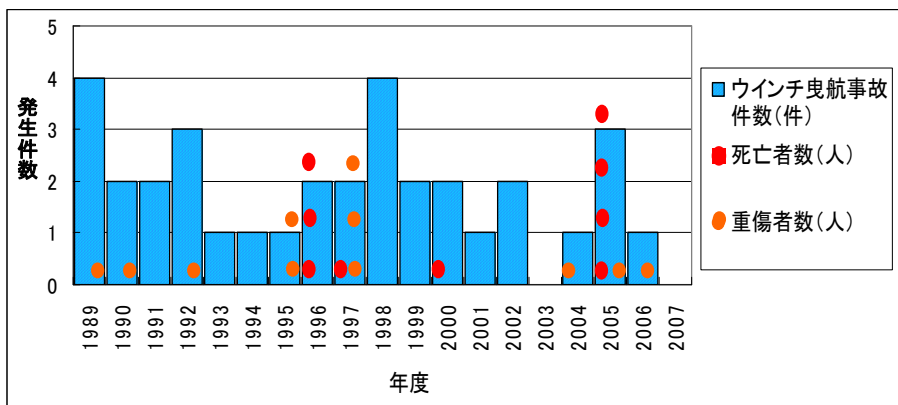
- 平成元年以降に発生したグライダー事故87件を、動力のあるモーターグライダーと動力のないグライダーに区分
- グライダーの曳航方法により
 - 航空機曳航
 - ウインチ曳航に区分
- ウインチ曳航の事故は、34件発生

グライダー事故内訳表



グライダー事故の発生前別内訳

- ・ ウィンチ曳航事故34件の年度別推移と年度別死傷者数21名(死亡9名 重傷12名)は以下のとおり。



ウィンチ曳航のグライダー事故事例(2000年以降を記載)

年月日	滑空場の場所	団体	墜落場所	墜落時区分	被災状況		事故調査委員会の報告書NO.
2006/6/24	長野市滑空場 (長野県長野市) ～千曲川右岸敷～	長野市グライダー協会	スキー場の駐車場に不時着	不時着	機長重傷	中破	AA2006-5
2005/8/31	妻沼滑空場 (埼玉県大里郡妻沼町 平成17年10月1日より熊谷市) ～利根川右岸敷～	千葉工業大学	滑空場脇の利根川に墜落	着陸時	機長重傷 同乗者死亡	大破	AA2006-2
2005/7/24	浜北滑空場 ～天竜川河川敷～	個人	滑空場に墜落	発航中	機長死亡	大破	AA2006-2
2005/5/17	久住滑空場 (大分県竹田市)	九州工業大学	発航地点から約700mの地点に墜落	発航中	操縦教員、 操縦練習生ともに死亡	大破	AA200-5
2004/2/1	大利根滑空場 (埼玉県北埼玉郡大利根町) ～利根川右岸敷～	個人(学生航空連盟所属)	滑空場東側の利根川の水面に墜落	発航中	操縦者重傷	大破	AA2004-4
2002/5/19	宝珠花滑空場 (埼玉県北葛飾郡庄和町) ～江戸川右岸敷～	明治大学	滑空場にハードランディング	発航中	負傷なし	中破	2003-1
2002/3/13	妻沼滑空場 (埼玉県大里郡妻沼町) ～利根川右岸敷～	個人	滑空場手前の空き地に接地後、滑空場境界のパイプ・バリケードに衝突	着陸時	死傷者なし	中破	2002-7
2001/9/12	霧ヶ峰滑空場 (長野県諏訪市) ～車山山頂付近～	個人	車山の山頂付近に不時着	不時着	軽傷	中破	-
2000/5/24	埼玉県妻沼滑空場 ～利根川右岸敷～	個人	滑走路に着陸	着陸時	死傷者なし	中破	-
2000/1/9	北川辺滑空場 (埼玉県北埼玉郡北川辺町) ～利根川右岸敷～	個人	利根川左岸側の水田に墜落	飛行中	機長死亡	大破	-

テーマ : 候補場所の選定理由についての説明

滑空場候補地の条件

- ◇滑空機がウインチ曳航で安全に飛行できる広さがある。
幅50m以上、長さ1000m以上の平坦地
- ◇平坦地の前後に700m程度の着陸進入コースを設定できる。
- ◇航空機曳航は騒音の問題が大きい。
- ◇安全の確保
周辺の交通などに影響を及ぼすおそれの少ないこと
- ◇大規模な工事が不要で無いこと
形状変更などで水辺や漁業への影響がないこと
大規模な工事費を連盟で負担することは困難
- ◇自衛隊の連絡用飛行場などを含め上記条件に該当しそうな場所を大阪から100km以内で選定現地調査を実施。
(木曽川滑空場が120km、大野滑空場が130kmに位置する)
- ◇選定には国土地理院の地図、グーグルアースの映像により平坦地の規模、利用状況などを確認した。

滑空場候補地の検討

	広さ	障害物件	路面状況
河川敷			
木津川(候補地なし)	×	×	×
淀川	○	○	×
宇治川	○	○	△
円山川	○	○	△
紀ノ川	○	○	×
加古川(候補地なし)	×	×	×
野洲川	○	○	○
自衛隊連絡飛行場など			
饗場野(滋賀県今津)	×	○	○
福知山	×	○	○
舞洲(大阪湾埋立地)	×	△	○
鶴野飛行場跡地(兵庫県加西市)	×	×	×

滑空場候補地の選定 (河川敷-1)

◇河川敷

淀川河川敷 橋や高圧線が多く滑空場の条件を満たす場所はすでに利用されている。合流点付近以外は候補地なし。

木津川河川敷 条件を満たす場所は堤外民地か砂地で運航に適さない。

宇治川河川敷 2カ所条件を満たす。
候補1の場所はヨシの群生地で自然保護ゾーン。刈り取りなどの整備や利用はできない。

候補2の場所は名神の南ルートがすぐ横を通り安全確保に問題がある。

淀川河川敷



※河川敷の広い場所はゴルフ場などに利用されている。

※八幡市に1000mの長さが確保できる場所があるが砂地と河畔林で滑走路には適さない。

※堤防道路は国道で通行量が多く安全確保が難しい。

宇治川河川敷



候補1

自然ゾーンに指定されておりヨシの群生地、伐採整地はできない。

候補2

名神高速南ルートがそばを通過している。

滑空場候補地の選定 (河川敷-2)

- | | |
|--------|--|
| 円山川河川敷 | 採草地に条件を満たす場所があり、牧野組合に打診、採草地をグライダーが使用するの
は2重占用となる。
牧野としては採草地が不足しており、貸与できないとのこと。 |
| 能登川河川敷 | 川底に広い場所があるが路面が滑空場に
適さない。 |
| 紀ノ川河川敷 | 条件を満たす場所はあるが起伏が大きく、
造成工事などが必要。 |
| 加古川河川敷 | 条件を満たす場所は公園などに利用
されている。 |
| 野洲川河川敷 | 湾曲しているが条件を満たす。 |

円山川河川敷

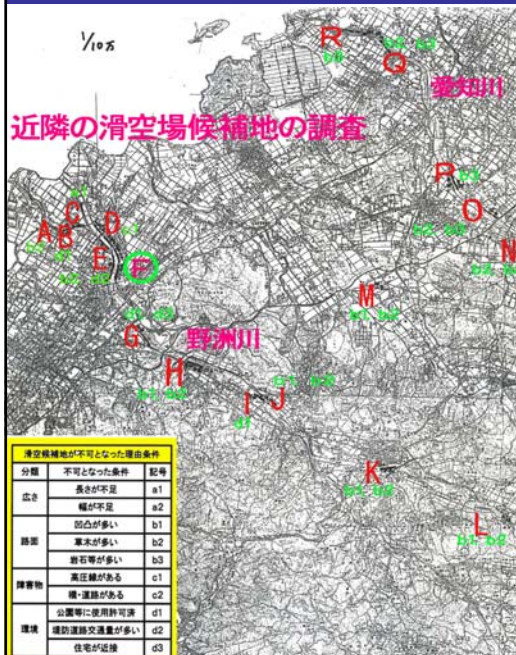


※採草地に条件を満たす場所がある。

採草地をグライダーが使用するのとは2重占用となる。

牧野としては採草地が不足しており、貸与できない。

野洲川滑空場候補地周辺の調査



滋賀県内では野洲川流域、愛知川流域などを調査。

川田大橋上流右岸にしか適地はなかった。

飛行場など (自衛隊連絡用滑走路など)

◇飛行場で舗装滑走路はウインチ曳航できないので連絡用の未舗装の滑走路を調査

- ・ 京都府 長田野 (例1) ・ 滋賀県 饗庭野

◇その他の飛行場など

- ・ 大阪府 舞洲イベント用飛行場跡地
- ・ 兵庫県 鶉野飛行場跡地

※連絡用の滑走路は長さ600mから750m、幅30mでウインチ曳航には長さ、幅とも不足。

※舞洲は舗装滑走路横の草地を検討、公共ヘリポート、近畿3空港の空域制限

※鶉野飛行場跡地は舗装滑走路横の草地利用を検討、滑走路を道路が横断、長さが不足。

自衛隊連絡用滑走路例1 (京都府長田野)



自衛隊の連絡用滑走路は小型機やヘリでの使用を前提としており、調査した滑走路はグライダーが利用するには長さ幅とも不足していた。

飛行場舞洲イベント用跡



※公共ヘリポートが隣接しており着陸コースが重なる。

※3空港が近くにあり空域が制限される。

鶉野飛行場跡地




※飛行場が道路で分断されて滑走路長が不足している。

※道路に平行して電線があり離着陸の障害となる。

テーマ : 安全性に関する内容についての説明

日本学生航空連盟について

- ・文部科学省所轄の公益法人で昭和5年設立。
 - ・各大学公認の体育会航空部が団体加盟している全国組織。
2007年5月現在 加盟校 59校、約700名 OB約20,000名
 - ・関西支部の加盟校は京都大学、大阪大学、立命館大学、龍谷大学、神戸大学、同志社大学、関西大学、関西学院大学、京都女子大学等
- 
- ・朝日新聞社が全面的に支援、会長は同社社長。評議員は加盟大学航空部長の大学教授らで組織。
 - ・連盟の専属教官を含め指導する教官は約300名(国土交通省の発行する操縦教育証明所有者)

滑空場候補地での安全対策

- ・ 占有者は日本学学生航空連盟になります。滑空場の運用は連盟が責任を持って行います。
- ・ 航空法、連盟の規則、安全対策を遵守します。
- ・ 野洲川候補地の利用に関する注意を定め運用します。
- ・ 堤防道路の通行は通行者優先でグライダーの運航は必要に応じて中断します。
- ・ 不測の事態が発生した場合は、運航当事校だけではなく、連盟と連盟をサポートする朝日新聞社が誠意を持って対応します。

北側安全管理エリア



- ・曳航索はウインチ手前150mの場所で離脱。
- ・ウインチマニュアルに従いウインチ前20mまで巻き取る。
- ・横風の時はコースを風上にはずらして上昇する。
- ・巻き取り不能などの不測の事態に備えて安全監視エリアを設定、安全監視員を配置する。

南側安全管理エリア



- ・曳航索はウインチ手前150mの場所で離脱。
- ・ウインチマニュアルに従いウインチ前20mまで巻き取る。
- ・横風の時はコースを風上にはずらして上昇する。
- ・巻き取り不能などの不測の事態に備えて安全監視エリアを設定、安全監視員を配置する。

グライダーの安全性(航空法など)

- ・ グライダーは航空法に定める航空機(航空法第二条)
 - ※運航には操縦士のライセンスと指定検査医による航空身体検査が必要。
 - ※教官は国土交通省の操縦教育証明の資格が必要。
- ・ グライダーの操縦練習には国土交通省航空局の許可が必要。
 - ※練習する者は航空身体検査に合格し航空機操縦練習許可書を取得する。
 - ※教官、使用グライダー、飛行場所ごとに許可申請が必要。
- ・ 運航に関しては航空局の指導がある。
 - ※安全対策が適切でない場合は運航が許可されない。
- ・ 機体は航空法に定める耐空性基準に適合、1年に1回の耐空検査に合格しなければ飛行できない。
- ・ 飛行できる気象状態に制限がある(航空法施行規則第五条)。
 - ※有視界飛行のみの運航 視程5キロ 雲の高さ300m以上でなければ飛行できない。
 - ※連盟では風等対する基準を制定、学生の練習に適した気象条件の時に飛行する。

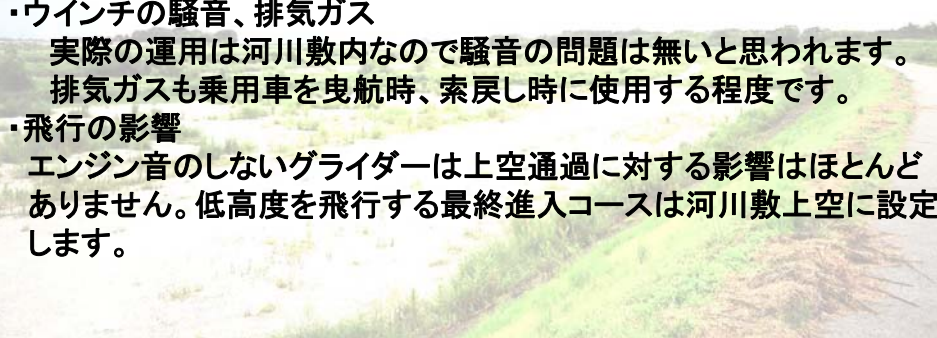
東北大学グライダー事故後の対応

- ◇7月28日霞の目飛行場で事故発生
 - ・全滑空場に訓練飛行の自粛を指示
 - ・連盟として事故の内容を確認
 - ・緊急安全対策会議を開催して対応を検討
 - ・国土交通省航空局運航課、乗員課に安全対策の内容を報告、指導を受け決定
 - ・加盟全大学に対策実施を指示
 - ・対策終了後飛行を再開
- ◇推定される事故原因
 - ・ウインチ曳航による離陸上昇時に曳航索安全装置が切断(機体を大きな加重から保護するもの)
 - ・サブGによる空間識失調
 - ・安全装置切断後の操縦者の対応遅れ
- ◇安全対策
 - ・曳航索安全装置ほか曳航装備の点検
 - ・指導員、単座要員のサブG耐性確認訓練の実施
 - ・緊急操作を含む基本事項の再確認

テーマ : 環境影響についての説明

滑空場の周辺への影響

- ・滑空場の整備内容
滑空場利用範囲の草を20～30cmの高さに刈り取ります。樹木は伐採します。離陸、着陸に使用する部分を必要により転圧します。
(20m×100m4カ所)
放水路として整備された河川敷で大きな起伏はありません。
また、草刈りなどの作業も川辺には入りませんので大きな影響は無いと思われます。
- ・ウインチの騒音、排気ガス
実際の運用は河川敷内なので騒音の問題は無いと思われます。
排気ガスも乗用車を曳航時、索戻し時に使用する程度です。
- ・飛行の影響
エンジン音のしないグライダーは上空通過に対する影響はほとんどありません。低高度を飛行する最終進入コースは河川敷上空に設定します。

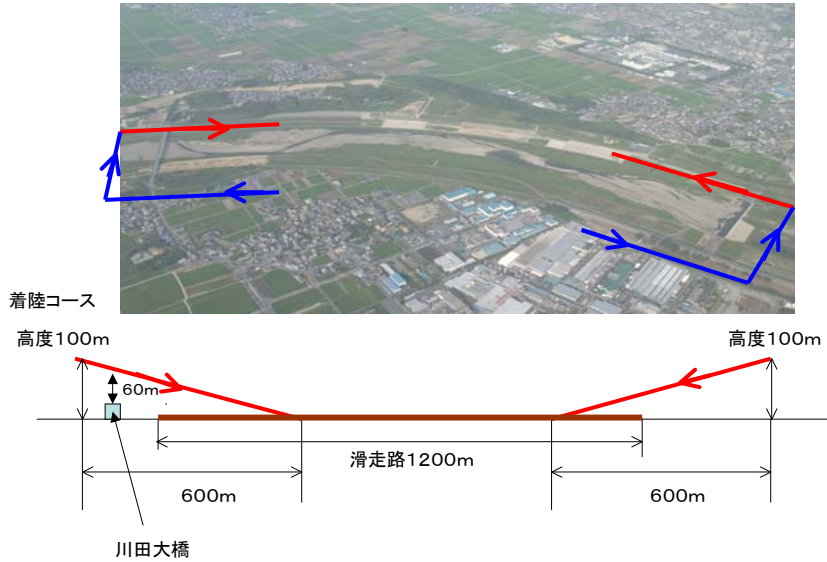


飛行するエリア



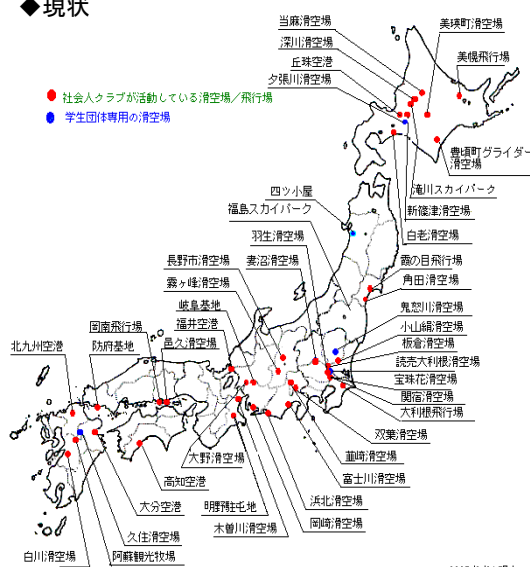
- ・通常の練習飛行は
半径 約2kmの範囲
- ・着陸コース以外は最低安全高度以上で飛行します。
(航空法で規定)
※市街地上空は300m以上の高度
※それ以外は地上の物件から150m離れて飛行
- ・上昇気流で高度を獲得した場合 半径約9kmの範囲を飛行

野洲川予定地 場周コース



滑空場の位置

◆現状



主な滑空場の都市からの距離

滑空場	周辺都市	距離
大利根場外離着陸場	東京	42.3km
妻沼滑空場	東京	69.8km
関宿滑空場	東京	44.3km
岡崎滑空場	名古屋	34.2km
木曾川滑空場	名古屋	18.9km
大野滑空場	名古屋	39.9km
野洲川候補地	大阪	63.4km
	京都	25.3km